

北海道から国際協力へ～隊員が各市町村を表敬～

北海道に縁のある JICA 海外協力隊 13 名が、2026 年 4 月中旬から各国へ派遣予定です。派遣に先立ち、北海道ならびに道内各市町長、担当者への表敬訪問を行い、活動への抱負、派遣への決意を語ります。さらに今回は、エクアドルでの 2 年間の活動を終えて帰国した隊員による小樽市への帰国時表敬訪問を同時実施いたします。派遣前の決意と帰国後の経験について、取材いただける非常に貴重な機会です。ぜひ隊員たちの想いを多くの方々に伝えていただくと幸いです。

【北海道より出発する 2025 年度 3 次隊 JICA 海外協力隊】

隊員氏名	派遣国／職種	予定されている活動内容
岡本 紀久子	トンガ／卓球	パラリンピック選手やジュニア選手に卓球の技術指導を行う。
田村 未路	東ティモール／看護師	同僚の看護師とともに業務効率化や業務向上の指導を行う。
大澤 いつみ	トンガ／日本語教育	トンガ国立大学にて日本語や日本語教授法の授業を行う。
津田 紫乃	マラウイ／看護師	乳幼児検診の実施支援・改善点の提案や母親学級の実施補助、健康や生活に関する啓発活動を行う。
西野 頼子	メキシコ／経営管理	現地に進出している日系企業と現地の工科大学や技術高校との産学連携促進を支援する。
影山 業修	ブラジル／野球	日系移民により創設された文化協会にて、青少年に対し野球の技術指導を行う。
名越 みや美	モンゴル／青少年活動	6-18 歳の生徒を対象に、現地の教具を活用した情操教育や課外クラブ活動の支援を行う。
永澤 亜沙美	ウガンダ／看護師	医療事故等の防止や患者中心のケアの重要性を病院スタッフに対し助言・提案する。
桶屋 綾子	ジンバブエ／看護師	医療サービスの質向上や病院内の 5S カイゼン活動を行う。
渡部 風河	パナマ ／家畜飼育・飼料作物	職業技術高校にて家畜飼育管理に携わりながら、畜産に関わる技術的なサポートや助言を行う。
持田 公孝	ボリビア ／コミュニティ開発	市役所にて観光、一村一品、サイクリングを柱とした地域開発プロジェクトを推進する。
谷口 二葉	ホンジュラス ／コミュニティ開発	市役所にて特産品のブランド化を目指した広報活動等の支援や女性起業家の育成を試行。
鈴木 美海	東ティモール／看護師	病院で行われている診療のサービス向上のため、看護師への勉強会を実施や 5S を指導する。

【活動を終了し帰国された JICA 海外協力隊】

隊員氏名	派遣国／職種	2年間の活動概要
佐藤 剛	エクアドル／学芸員	考古学博物館や遺跡公園の展示の改善、遺跡の管理・監督、発掘調査。ワークショップや展示会の開催。

【表敬訪問日程】

表敬先／面談予定者	日時	表敬者
ニセコ町 田中 町長	3月24日(火) 14:15～14:35	岡本 紀久子
帯広市 池原 副市長	3月24日(火) 9:30～9:45	田村 未路
佐呂間町 武田 町長 玉井 副町長	3月26日(木) 11:00～11:30	大澤 いつみ
札幌市 加藤 副市長 総務局市長室長 前田 室長	3月27日(木) 14:00～14:20	津田 紫乃、西野 頼子 影山 業修、名越 みや美
登別市 小笠原 市長	4月2日(木) 15:00～15:20	永澤 亜沙美、桶屋 綾子
上士幌町 竹中 町長 佐藤 副町長	4月2日(木) 15:00～15:40	渡部 風河、持田 公孝 谷口 二葉
北海道 (調整中)	4月6日(月) 11:40～12:00	13名全員
小樽市 迫 市長	4月7日(火) 15:00～15:20	鈴木 美海、佐藤 剛

※すでに実施済みの市町村がありますことをご了解ください。

JICA
海外協力隊

【本件に関する問い合わせ先】

JICA北海道(札幌) 市民参加協力課 船田
TEL011-866-8421 e-mail: Funada-Hikari@jica.go.jp